ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

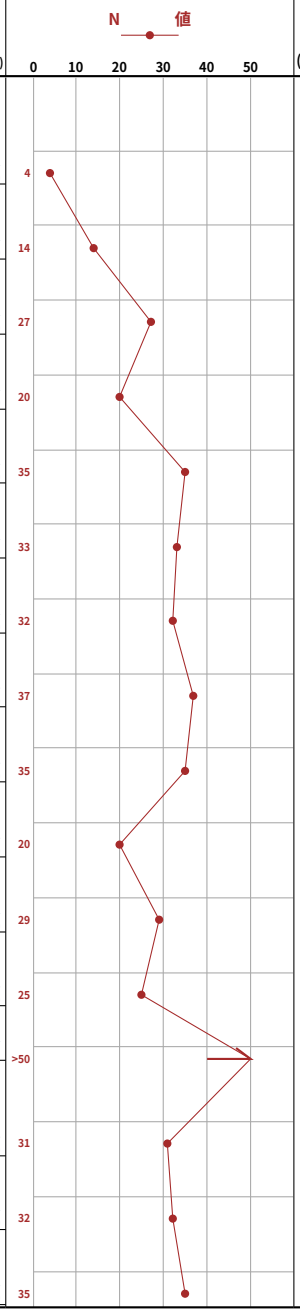
シートNO.

ボーリング名	B-1(右岸側)	調査位置				北　緯	36 ° 22 ' 45.0000 "
発 注 機 関	栃木県安足土木事務所　整備部			調査期間	2010-10-19 ～ 2010-10-25	東　経	139 ° 24 ' 51.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	87.85 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	21.00 m								エンジン		ポ ン プ	

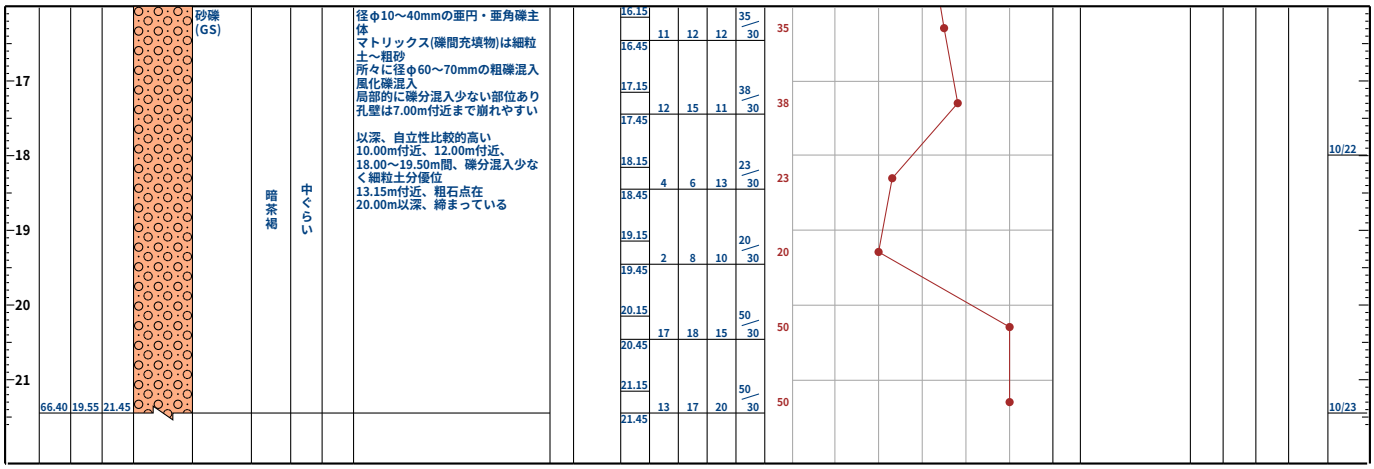
標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
					盛土 (BS)	暗褐	緩い		礫混じり砂 礫は径φ10～40mm程度を混入 0.50m以深、礫分混入少なく緩い		10/20 1.50
	85.95	1.90	1.90		砂礫 (GS)	暗茶褐	中ぐらい		径φ10～40mmの亜円・亜角礫主体 マトリックス(礫間充填物)は細粒土～粗砂 所々に径φ60～70mmの粗礫混入 風化礫混入 局部的に礫分混入少ない部位あり 孔壁は7.00m付近まで崩れやすい 以深、自立性比較的高い 10.00m付近、12.00m付近、 18.00～19.50m間、礫分混入少なく細粒土分優位 13.15m付近、粗石点在 20.00m以深、締まっている		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	2	4／30	4
2.15	5	5	4	14／30	14
3.15	8	9	10	27／30	27
4.15	7	6	7	20／30	20
5.15	11	13	11	35／30	35
6.15	15	11	7	33／30	33
7.15	9	12	11	32／30	32
8.15	14	13	10	37／30	37
9.15	12	14	9	35／30	35
10.15	6	7	7	20／30	20
11.15	10	11	8	29／30	29
12.15	8	9	8	25／30	25
13.15	50／3			50／3	>50
14.15	9	11	11	31／30	31
15.15	6	11	15	32／30	32
16.15	11	12	12	35／30	35



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						10/19
						10/20
						10/21


17
18
19
20
21
66.40
19.55
21.45
砂礫
(GS)
暗茶褐
中ぐらい
径φ10～40mmの亜円・亜角礫主体
マトリックス(礫間充填物)は細粒土～粗砂
所々に径φ60～70mmの粗礫混入
風化礫混入
局部的に礫分混入少ない部位あり
孔壁は7.00m付近まで崩れやすい
以深、自立性比較的高い
10.00m付近、12.00m付近、
18.00～19.50m間、礫分混入少なく細粒土分優位
13.15m付近、粗石点在
20.00m以深、締まっている
16.15
16.45
17.15
17.45
18.15
18.45
19.15
19.45
20.15
20.45
21.15
21.45
11 12 12
12 15 11
4 6 13
2 8 10
17 18 15
13 17 20
35/30
38/30
23/30
20/30
50/30
50/30
35
38
23
20
50
50
10/22
10/23